

原則として、各欄の内容等は、このサンプル程度にてご記入願います。

申請一覧 ▶ 1. プロジェクト調書 (様式2)

LOGOUT

## 令和6年度 土地活用モデル大賞 応募申請

### 1. プロジェクト調書 (様式2)

最終更新日: 2024/06/26

#### 1. プロジェクト名

※改行可能な入力欄は改行も1文字となります。

##### (1) プロジェクトの概要

該当する所在地、立地・位置を選んだ上で、記入欄に記載してください。

##### 場所

所在地

地方都市 等 ▼

立地・位置

中心市街地 ▼

郵便番号

112-0014

住所1

都道府県選択 ▼

市区町村選択 ▼

住所2

●●●●○-○○-○

##### 土地(敷地)面積、建物面積

土地(敷地)面積

8900 m<sup>2</sup>

建物(延床)面積

990 m<sup>2</sup>

##### 主要な施設内容

(100文字以内)

レストラン・シェアオフィス(1F)、体験学習スペース(2F)、宿泊施設・研修ルーム等(3F)、公共施設(道路、広場、緑地)

##### 事業主体 管理運営主体

事業主体 (50文字以内)

●●組合、■■市、◆◆まちづくり(株)

管理運営主体 (50文字以内)

○○組合、◇◇協議会、社会福祉法人▲▲

##### 施設の開設や運営管理が開始された時期

竣工

2018 年 12 月

該当する手法類型を3つまで選んだ上で、記入欄に記載してください。

**事業手法**

手法類型1

再開発



手法類型2

任意事業（PRE）



手法類型3

協定等



事業手法（150文字以内）

市街地再開発事業、定期建物賃貸借、設置管理許可（都市公園法第5条第1項） など

**資金調達等**

（250文字以内）

例）まち再生出資（民都機構）、●●補助金（交付金）、▲▲事業、自己資金、金融機関融資 など

まち再生出資（民都機構）、●●補助金（交付金）、▲▲事業、自己資金、金融機関融資 など

**立地条件上位計画等**

（250文字以内）

◆線■駅の南側の中心市街地。■街道沿いの商店街と公益施設や農地が点在する閑静な住宅地からなる。  
都市マスタープランにおける▲拠点と立地適正化計画の●区域の位置付けがある。

**(2)プロジェクトの前後での変化****土地・建物の状況**

プロジェクト前（50文字以内）

旧●小学校・幼稚園が平成■年に閉校し、利用・メンテナンスが不十分な状態

プロジェクト後（50文字以内）

多目的施設「□□□」として営業

**土地所有者**

プロジェクト前（50文字以内）

■■市

プロジェクト後（50文字以内）

底地は■■市、◆◆まちづくり（株）が事業用定期借地

**建物所有者**

プロジェクト前（50文字以内）

■■市、個人（○○名）

プロジェクト後（50文字以内）

●●市と◆◆まちづくり（株）が区分所有

**用途地域、都市計画、まちづくりルール等**

プロジェクト前（50文字以内）

第二種住居地域

プロジェクト後（50文字以内）

第二種住居地域、●●地区地区計画、まちづくりガイドライン、▲▲条例の促進区域 など

**プロジェクト前の状況と土地活用上の主な課題**

（3つ程度。各100文字以内）

当該地区は●●センター用地として残されていたが開発のあり方は迷走していた。

地域全体の土地需要（住宅など）が低迷し、住宅が少ないために商業施設の立地が進まないという悪循環に陥っていた。

従来にみられた起爆剤型の開発でなく、需要の負のサイクルを打破し、自立した経営が可能な持続可能な土地活用スキームが求められていた。

**プロジェクト後の活性化、周辺への影響**

（150文字以内）

●を目的とする自治体や民間企業の視察が多数。  
▲施設を使った二拠点居住者が増加するとともに、都心部の会社によるサテライトオフィス開設により■や▲コミュニティビジネスが生まれた。  
◆◆祭りに地元業者約20店舗が出店し、他市他県からの集客に貢献している。

**（3）アピールポイント（プロジェクトで特にアピールする点 等）**

該当する土地活用のテーマを2つまで選んだ上で記入欄に記載してください。

**土地活用の**

**テーマ**

テーマ1

人口減少社会、少子高齢社会への対応

テーマ2

地方経済・雇用を支える観光や農林水産業等

土地活用のテーマ（100文字以内）

全国的に急務とされている廃校利用や東京一極集中の緩和に貢献。  
二拠点居住を実現させ、過疎化の進む●●エリアの全体をPR。

該当する利用及び管理の工夫（各1つ）と事業推進上の工夫（2つまで）を選んだ上で、記入欄に記載してください。

**土地の利用、管理の工夫(手法・スキーム、体制 等)**

土地の適正な「利用」

再生利用 ▼

土地の適正な「管理」

連携・調整の仕組み ▼

事業推進上の工夫1

リノベーションやコンバージョン ▼

事業推進上の工夫2

土地・建物に係る権利設定の組合せ ▼

土地の利用、管理の工夫（200文字以内）

土地区画整理事業により権利整序を行いつつ、土地は市、建物は特定目的会社が出資建設する所有と利用の分離により資金調達リスクやイニシャル・ランニングコストを最小限化。  
建物の管理主体は施設毎に設定。管理水準にバラツキがでないよう、協議会を設置し、定期的に協議。また、保育、スポーツ、医療、介護などに関するサービスの調整、イベント実施における連携・協調を実施。

該当する成果・効果を2つまで選んだ上で、記入欄に記載してください。

**まちづくりの成果・効果**

主な成果・効果1

地域の付加価値向上、ブランドの育成 ▼

主な成果・効果2

来街者増、集客（買い物客、観光客等）の効果 ▼

まちづくりの成果・効果（100文字以内）

民間施設と公共施設の合築によって集積メリットを創出し、エリアの賑わいととも持続可能な運営コストを実現。他県からの来街者の人的交流も促進され、■や◆の増加を誘発。

戻る

登録

